

～笑い飯哲夫さんとともに～

桜井市の歴史文化を巡ろう



8月号に続いて、哲夫さんと市内で相撲にゆかりのあるスポットへ。今回は、野見宿禰顕彰会会長である島岡さんの案内で、大字穴師にある相撲発祥の聖地相撲神社を訪れました。

日本初の天覧相撲が行われた場所

野見宿禰と当麻蹴速が取った相撲は日本初の天覧相撲で、相撲神社のある「カタヤケシ」という場所で行われたとされています。

相撲神社の社殿は、十二柱神社と同じく力士像が支えています。また、平成25年には野見宿禰像が刻まれた「勝利の聖」碑が建立され、角界の著名人などを招いて盛大に除幕式が行われました。



相撲神社の近くからは西側の風景が一望できました。二人には「いい景色の場所で天皇に相撲を見せたい」という思いもあったのでしょうか。



「相撲神社」(大字穴師)を訪れました。



笑い飯哲夫のちょっとひとこと

陰陽五行の思想は、いろんなところに散りばめられています。陰は月、陽は日、五行は木・火・土・金・水を表し、揃え直すと日月火水木金土になります。

五行の木は青で東、火は赤で南、土は黄で中央、金は白で西、水は黒で北と、それぞれ担当が定められています。テレビで観る大相撲の土俵の上には屋根があって、屋根の四方から太い紐のようなものが垂れていますよね。あの紐の色が、東は青、南は赤、西は白、北は黒になっています。中央には土の土俵があります。まもなく穴師はみかんで黄色くなります。

SUMO EXPO2025 出展レポート

8月4日⑨に大阪・関西万博会場で「SUMO EXPO2025」が開催され、桜井市もPRに参加しました。

出展ブースではパンフレット配布などで、桜井市の魅力を世界の皆さんに紹介しました。土俵ステージでは相撲大会が行われ、桜井市代表として今吉丈さん(右下写真左・市立城島小学校5年生)と吉田風多郎さん(右下写真右・市立朝倉小学校3年生)が出場し、力を発揮しました。市町村PRタイムには野見宿禰と当麻蹴速の天覧相撲を題材にした劇で相撲のはじまりを紹介。続いて大和すくね相撲甚句会の皆さんによる相撲甚句が披露され、観客はどこか懐かしく力強い声に聴き入っていました。

